

文献パート 1 と 2 の事前解説

北村 友宏

2019 年 4 月 10 日

本日の内容

1. この科目について
2. 文献パート 1 の事前解説
3. 文献パート 2 の事前解説

科目の基本情報

- ▶ 科目名：外書演習
- ▶ 担当教員：北村 友宏
- ▶ 開講区分：前期
- ▶ 曜日・時限：水曜日 1 限
- ▶ 教室：本館 323 教室
- ▶ 対象：2015 年度以前入学生

担当教員の連絡先等

- ▶ メールアドレス
 - ▶ kitamura@econ.kobe-u.ac.jp
- ▶ オフィス・アワー
 - ▶ メールにてアポイントメントを取ってください。
- ▶ ホームページ
 - ▶ <http://tomkitamura.html.xdomain.jp/>

全て神戸大学経済学部・経済学研究科 HP の教員紹介ページに掲載されている。

学部・研究科 HP の「教員紹介」→「北村 友宏」と辿れば確認できる。

連絡事項・資料の配布

連絡事項や講義資料は担当教員の HP に掲載する。
HP (<http://tomkitamura.html.xdomain.jp/>) にアクセスし、「Teaching」→「外書演習」と辿れば確認できる。

テーマと到達目標

▶ テーマ

- ▶ 交通経済学の英文テキストを読み，分かりやすい日本語に訳す。

▶ 到達目標

1. 英語で表現された主要な経済用語を，日本語で何と言うかが分かるようになる。
2. 経済学の英文テキストの内容が正しく解釈できるようになる。

教科書

- ▶ Cowie, Jonathan and Stephen Ison (2017) *The Routledge Handbook of Transport Economics*, Routledge Handbooks Online.
 - ▶ この教科書の, **Chapter 6: Passenger air traffic** (著者: Forsyth, Peter) を用いる.

学内のパソコンから, あるいは自分のパソコンをVPNで神戸大学のネットワークにアクセスした状態で,

<https://www.routledgehandbooks.com/doi/10.4324/9781315726786>

にアクセスし, Chapter 6: Passenger air traffic の「Download PDF」をクリックすると, Chapter 6 のPDFファイルをダウンロードできる (**購入不要**).

Chapter 6 のパート分け

演習では、指定教科書の Chapter 6 を以下の 25 パートに分割し、パートごとに報告者を割り当てる。

- ▶ **パート 1** : [p.74] In this context, 'air transport' ~ [p.74] to be taken into account.
- ▶ **パート 2** : [p.74] The airline cost function was ~ [p.75] FSCs are trying to copy.
- ▶ **パート 3** : [p.75] The second aspect is the ~ [p.75] smaller regional airports (Doganis, 2006).
- ▶ **パート 4** : [p.75] A distinction which is sometimes ~ [p.76] flight which stops at Dubai.
- ▶ **パート 5** : [p.76] Another important aspect is aircraft ~ [p.76] this is changing a little).

- ▶ パート 6 : [p.76] For many years, until the ~ [p.77] costs (Oum and Tretheway, 1990).
- ▶ パート 7 : [p.77] One unavoidable consequence of aviation ~ [p.77] market is rather less transparent.
- ▶ パート 8 : [p.77] In other markets, prices are ~ [p.78] of Asia, for example Japan.
- ▶ パート 9 : [p.78] Another system which is liable ~ [p.78] has increased slightly over time.
- ▶ パート 10 : [p.78] There are some second-order questions ~ [p.79] elasticities are much the same).

- ▶ パート 11 : [p.79] As with other services such ~ [p.80] frequency will gain (Frank, 1983).
- ▶ パート 12 : [p.80] The devices which airlines use ~ [p.80] Ryanair in Europe, did succeed.
- ▶ パート 13 : [p.80] Several factors underlay their success ~ [p.81] Lufthansa added a Munich hub).
- ▶ パート 14 : [p.81] While LCCs are using hub ~ [p.81] Air New Zealand (now ended).
- ▶ パート 15 : [p.81] Alliances provide network and other ~ [p.82] may not approve the alliance.

- ▶ パート 16 : [p.82] For the period since deregulation ~ [p.82] have problems in sustaining profitability.
- ▶ パート 17 : [p.82] While there are many airlines ~ [p.83] a route served by three.
- ▶ パート 18 : [p.83] In spite of this, if ~ [p.83] only in very good years.
- ▶ パート 19 : [p.83] Cost competitiveness is also very ~ [p.85] likely to be short lived.
- ▶ パート 20 : [p.85] Of the several externalities of ~ [p.85] a large difference in noise.

- ▶ **パート 21** : [p.85] Aviation generates several emissions, especially ~ [p.86] for many years to come.
- ▶ **パート 22** : [p.86] Assuming that aviation will generate ~ [p.86] emissions tax which included aviation.
- ▶ **パート 23** : [p.86] Given that emissions are a ~ [p.87] before can have some currency.
- ▶ **パート 24** : [p.87] In the case of aviation ~ [p.87] a city being more connected?
- ▶ **パート 25** : [p.87] Aviation is a topic area ~ [p.88] questions in the aviation market.

成績評価

▶ 報告

- ▶ 指定教科書の割り当てられたパートの日本語訳を事前に作成しておき，演習の際に報告する。
- ▶ 見出しや表は訳さず，**本文のみ**を訳せばよい。
- ▶ 報告資料等は不要。口頭でよい。

▶ 期末試験

- ▶ 指定教科書の本文の日本語訳をする問題。
- ▶ 演習で取り扱った範囲から出題する。
- ▶ 電子辞書のみ持ち込み可。

以上から総合的に評価する。



報告が割り当てられたパートだけでなく，割り当てられていないパートの日本語訳も作成しておくこと。

追試験の願い出

- ▶ 期末試験の追試験は、教務係に願い出ること。
 - ▶ 担当教員への直接の連絡は不要。
- ▶ 次のどれかに該当する場合にのみ認められる。
 - ▶ 二親等以内の親族の死亡による忌引
 - ▶ 急性の重い病気又は重大な負傷であって、入院又は自宅安静を必要とすることが証明できるもの
 - ▶ 公共交通機関の運休又は大幅な遅延
 - ▶ 就職試験等の最終面接又は公務員試験等の二次試験・官庁訪問であって、当該事実と実施日の証明できるもの
 - ▶ その他やむを得ない事由

(経済学部「定期試験の追試験に関する内規」より引用)

第2回以降の演習の進め方

1. 報告者による日本語訳の報告（毎回2名，2パートを予定）
2. 担当教員による日本語訳例の提示（口頭のみ）
3. 担当教員による次回のパートの事前解説

パート 1

- ▶ see Chapter ** 「第**章を参照されたい」
- ▶ FSC, LCC, WEB など, アルファベットでの略称はそのまま FSC, LCC, WEB などと書く. その際に, 複数形を表す s がついている場合は s を取る.
- ▶ deregulation 「規制緩和」
- ▶ these include の前にある, 「すなわち」を表す- の前後で, 日本語の文を区切ってよい.
- ▶ This chapter 「本章」または「この章」

パート 2

- ▶ economies of scale and density 「規模の経済性と密度の経済性」
 - ▶ economies of scale 「規模の経済性」
 - ▶ economies of density 「密度の経済性」
- ▶ Gillen et al., 1990 など「著者名, 出版年」の表記になっている部分はそのまま Gillen et al., 1990 などと書く。著者名をカタカナに直す必要はない。
 - ▶ see Gillen et al., 1990 「Gillen et al., 1990 を参照されたい」
 - ▶ (Oum et al., 2000, 2008; Doganis, 2006) はそのまま書く。
- ▶ e.g. 「例えば」
 - ▶ For example の略。